

記入例

太陽生命健康保険組合理事長 殿

所属 支社名	大森北支社
連絡先 (IPコード・内線等)	担当者名
100	〇〇

健康保険出産手当金請求書

被 保 険 者 が 記 入 す る と こ ろ	(1) 被保険者等	記号	0000	番号	11111	(2) 事業所の 名称	太陽生命 〇〇支社	
	(3) 被保険者の 氏名	太陽 花子			(4) 被保険者の生年月日	昭・平 10 年 4 月 1 日		
	(5) 分娩予定年月日と分娩のあった年月日			分娩予定日		令和 8 年 4 月 1 日		
				分娩日		令和 8 年 4 月 1 日		
	(6) 出産のため休んだ期間			令和 8 年 2 月 19 日 から 98 日間 令和 8 年 5 月 27 日 から				
	(7) 振込口座	※給与口座への振込を希望する場合は記入不要。						(7)「振込口座」欄
		金融機関名称		本・支店名		種別	口座番号	名義人(カナ)
					普通			
(8) 上記のとおり請求します。 なお、当請求を事業所経由で行う場合、健康保険組合への書類提出を事業所に委任します。 令和 8 年 6 月 1 日 〒 000-0000 TEL 03(0000)1111 住所 東京都城東区城東1-2-3 被保険者 フリガナ タイヨウ ハナコ 氏名 太陽 花子								(8)「請求署名」欄 被保険者が記入する。 ただし、分娩した被保険者 死亡の場合は、相続人が 請求できるため、別途問い 合わせすること 書類提出を事業所に委任し ない場合は、請求者が直接 健康保険組合へ提出する。

医 師 ま た は 助 産 師 が 意 見 を 書 く と こ ろ	(9) 分娩予定年月日	令和 8 年 4 月 1 日	(11) 出生児数	☒ 単胎
	(10) 分娩年月日	令和 8 年 4 月 1 日		☐ 多胎 (児)
	(12) 正常分娩または 異常分娩の別	☒ 正常 ☐ 異常	(13) 生産または死産の別	☒ 生産 ☐ 死産 (妊娠 か月)
	(14) 上記のとおり相違ないことを証明します。 令和 8 年 4 月 10 日 所在地 東京都城南区城南1-2-3 医療施設 名称 〇△病院 医師・助産師名 日本 次郎			

事 業 主 が 証 明 す る と こ ろ	(15) 労務に服さなかった期間	令和 8 年 2 月 19 日 から 98 日間 令和 8 年 5 月 27 日 から	(15)~(17)「事業主証明」欄 【営業職員】 支社で記入し「社判」 「支社長名」を押印の 上、健康保険組合へ 提出する。 【内務員・パート等】 給与厚生課で証明す るため、未記入のまま 給与厚生課へ提出す る。 【関連会社】 各会社で証明し、総 務担当者が健康保険 組合へ提出する。	
	(16) 労務・給与支払いの状況	別紙のとおり出勤簿・給与台帳を添付します。		
	(17) 上記のとおり相違ないことを証明します。 令和 8 年 6 月 26 日 所在地 東京都〇△区〇△町1-1-1 事業主 名称 太陽生命保険株式会社 代表者名 〇〇支社 〇〇支社長 中央 太郎			

添 付 書 類 及 び 注 意 事 項	(添付書類について)※事業所で用意し請求書に添付してください。 ☒ 産前産後期間(法定期間)中の出社記録簿 ☒ 産前産後期間(法定期間)中の報酬台帳・給与台帳 (例)営業職員4月分の請求は5月25日支払の4月分の報酬台帳を添付 ☒ 報酬台帳に精算額がある場合は「定例報酬台帳(精算用)」	
	(記入上の注意事項) [(6)と(15)の産前産後期間の算出] 1. 予定日どおり又は、予定日より早く出産した場合 ➡産前は出産日から遡って42日前から対象(多胎の場合は98日前) ➡産後は出産日の翌日から56日間が対象 2. 予定日より遅く出産した場合 ➡産前は出産日予定日から遡って42日前から対象(多胎の場合は98日前) ➡産後は出産日の翌日から56日間が対象	

※振込口座を公金受取口座とする場合は本申請書とあわせてホームページ掲載の「保険給付等の公金受取口座利用届」をご提出ください。